

平成30年 2 月 9 日

陳情第130号

小田原市立病院の建て替えにあたり隔離病棟の設置を求める陳情

## 小田原市立病院の建て替えにあたり隔離病棟の設置を求める陳情

### 【陳情趣旨】

平成30年1月、仕事始め式に臨んだ小田原市長から、当面の市制における課題として、市民ホールの整備とともに、小田原市立病院の建て替えに言及されたとの報道がありましたので、病院の建て替えにあたり隔離病棟を併設するよう予め要望いたしたく陳情する次第です。

平成28年12月開会の貴議会定例会において、神戸議員が小田原市立病院の建て替えについて一般質問された際の答弁において、市長は建て替え期間を7～8年と見込んでいるとされていたことからすれば、格段の前進であると判断いたします。

近年、外国からの観光客が増加していることは周知の事実ですが、かなりの数の観光客が国際観光地である箱根にやってきます。その観光客の相当数が新幹線や在来線を利用するなどして、小田原駅を経由して箱根に向かい、その後小田原駅から国内の別の観光地に向かうか帰国するという経路をたどります。

外国人観光客を保菌者であるなどと差別をする考えはありませんが、人の交流がもたらすリスクを事前に管理することはもちろん、少し前に発生したSARSなどという感染性の疾病があるように、感染性の疾病に対する備えは必要です。

県西地区では足柄上病院に10床の隔離病棟が常時用意されているとはいえ、いざとなれば、小田原を通過して足柄上病院に緊急搬送するというのでは、救急隊職員への感染リスクも大きくなる懸念があります。

つきましては、これから検討することになるであろう「新しい小田原市立病院」に、隔離病棟を設置することを検討していただくことを期待しております。

### 【陳情項目】

小田原市議会として、小田原市長に対し、「新しい小田原市立病院」を建てる際に、感染症対策のための隔離病棟を設置することを検討するよう求めること。

平成30年2月9日

小田原市議会議長

加藤 仁司 様

提出者

小田原市中村原303

加藤 哲男 ㊞